

ぶんぶん

文化資源活用協会新聞

最近の
活動

30年ぶりに

須玉HITO文庫「山の芽 里の香 すたまの恵み」増刷!

須玉HITO文庫は、平成4年から旧須玉町の「須玉の食文化を考える会」によって編まれ、須玉町教育委員会が発行した食ごよみマップや5冊の冊子です。増刷が決まったのはこの中の、長らく在庫切れ絶版であった「山の芽 里の香 すたまの恵み」の“第2号 ごはんとおかず編”“第3号 おやつと漬物編”です。

その頃から、郷土の料理や四季折々の伝統的なものが時代と共に消えていく傾向にあることが危惧されていました。当時須玉町職員で、地元のお母さんたちやアドバイザーの林のり子先生と会を立ち上げ文庫の編集に尽力された内藤和心さん

(現 遠照寺副住職、NPO文資協理事)からも、復

刻にあたりご賛同やご援助を頂き、各100部増刷する運びとなりました。地元印刷所のご協力により、原稿も復元されました。

復刻の2冊には素朴で魅力的な郷土のメニューがたくさん掲載されています。編集時には実演に協力してくださった地元の方々も高齢になりすでに亡くなられている方もあり、昔ながらの料理はこういった冊子をもとにしか再現出来なくなってきています。復刻出版後は、津金学校で販売いたします。また“第1号 すたまのお祭り食ごよみ”“第4号 じょうりけんじょけんじょ すたまのあそび”“第5号 増富の炭焼き”はまだ在庫があり、共に並んでいます。ぜひ一度お手にとってみてください。

掲載のメニュー

- ・ほうとう・小豆ほうとう
- ・きび入りおこわ
- ・花豆の含ませ煮
- ・ふき・ごぼうの砂糖菓子 他

須玉HITO文庫については以下のサイトにも詳しく紹介されています。
日蓮宗定栄山遠照寺ホームページ「すたまの食ごよみのご紹介」
<http://onsyoujihogara.sakura.ne.jp/shokugoyomi.html>

明治カフェ ご利用ください

◎ 土日メニュー (うどん、そば、ハンバーグランチ他、ソフト

ドリンク各種、夏は桃のシャーベット等)

◎ お弁当予約できます (土日限定。400円または500円)

◎ 米粉を使ったグルテンフリーの三種の焼き菓子

◎ 手作りパウンドケーキ各種

◎ 平日は休憩などにご利用いただけます。コーヒー、紅茶 200

円 (セルフサービス)。



地域のお年寄りのお食事会
月イチでみなさん楽しそう

つがね青空市 定期開催

つがね学校前広場で、10月までの毎月第4日曜日にフリーマーケットを行います。（7月24日は山梨県の感染者急増のため中止しました。）

地元で人気のお菓子やさん、天然酵母のパン、キッチンカー、地元の野菜、クラフト作品などが並びます。掘り出し物フリーマーケットの店もあります。近所の「フリースペースほくと」（ビンテージ雑貨）も同時開店です。

三代校舎ふれあいの里に足を運んだついでに周辺の散策はいかがでしょう。八ヶ岳の眺めや裏手の諏訪神社の静けさ、熟すのを待つばかりのリンゴ畑やワイン用ブドウの畑など、楽しみがいっぱいです。



つがね
青空市

場所：津金学校前広場
(三代校舎ふれあいの里)
北杜市須玉町下津金2963

毎月第4日曜日 10:00～15:00(雨天中止)
2022年 7月24日(日) 8月28日(日)
9月25日(日) 10月23日(日)

フリーマーケット

農産物

手づくり品



今年もホタルが飛びました & 環境整備



2022年は6月20日ごろからホタルが出てきました。2018年に「蛍の舞い飛ぶ津金の里環境整備事業」を始めた高橋元理事長によると、「おれの夢が実現した」。今年の蛍は数も、飛んでいる範囲も、去年よりぐんと増えたそうです。三代校舎裏手の「波龍川」「反田橋」周辺には鑑賞する人の姿が毎晩ありました。津金出身の人々から「子供のころはすごかった」という話をよく聞きます。以前は「7月15日の祇園様の頃まで出ていた」ということでしたが、ここ数年は「七夕の頃にはいなくなる」と言われます。ホタルたちは今年も無事に産卵したでしょうか。休耕田を利用したカワナナ養殖場の小川には農業用水とは別の「山の水」が流れ込みます。シーズンが終わった7月28日には「津金蛍保存会」とボランティアの方々のご協力で、周辺の草刈やツル植物の除去など、ホタルのすみかを守るための作業をしました。ハチ刺されやケガもなく、冷たいスイカを食べて、無事に終わりました。作業のみなさん暑い中ありがとうございました。



金子仁香作品展 2022.10.23～11.13

八ヶ岳のふもとに30年前からお住まいで、日本画、染め、織り、紡ぎ、陶芸などの創作の傍ら、ヒマラヤンカレー「ぼんてんや」、農業など、いくつもの顔をお持ちのアーティスト、金子仁香さんの作品展です。

この秋の展示に向けて、虫や鳥や周りに共存している者たちを、水彩画、日本画、型染めなどによってポタニカルアート、博物画としても美しいものを書いてみたいとのことです。お楽しみに！



編集後記

コロナウィルス拡大のため中止したり役員のみで行ったNPO総会を、2022年は3年ぶりに開催します。会員のみなさまに、総会資料と一緒に「ぶんぶん」をお送りするべく、編集を始めました。自主事業の年間計画も立てましたが、他にも敷地の草取りと樹木の剪定、建物外装の塗装、雨どいの修理…文化財のため建物の改修に関する事は市と協議し許可を得た上で行うことになってはいますが、やることは目白押しですよ！コロナも一進一退を繰り返しつつ、今後は行事や団体見学なども戻ってくることでしょう。NPO文資協と津金学校の活動をお楽しみに～

